２０２０年度 輪島市立鳳至小学校　学校教育ビジョン

石川県及び輪島市の教育振興基本計画並びに主要政策を踏まえ，本校の教育目標を次のように設定する。

（１）　教育目標

創造性豊かで，頼もしい人づくり

（２）めざす児童像，教師像，学校像

めざす子どもの姿

①お互いに学び合う子　　【知】
②やさしく助け合う子　　【徳】
③健康で命を大切にする子　　【体】
④地域を大切にし 礼儀正しい子【郷土愛】

自ら考え行動する子ども

目指す教師の姿

①児童を鍛え抜き，励まし抜き，守り抜く教師
②研鑽，協働，改善を旨とし，児童の意欲を引き出す教師
③保護者の信頼を得，保護者と連携し，地域活性化の一翼を担う教師

信頼される教師

目指す学校の姿

①子どもが主体的に活動できる学校
②学力が向上する学校
③職員，児童ともに協働できる学校
④地域とともに歩む学校

地域貢献できる学校

（３）教育基本理念　『人財育成 … 教育は人づくり』　–すべては未来を拓く子ども達のため–

・児童には，仲間と学び合い，切磋琢磨しながら知識や技能を磨き上げ，社会で活用できる能力を身につけさせる。
・教職員は，児童一人一人の無限の可能性を伸ばすための研鑽を積み，情熱を持って教育活動を前進させる。

（４）重点事項

・お互いに学び合う子どもたちに
・大きな声であいさつし，自分を表現できる子どもたちに
・友だちの良さを見つけ合い，協力し合える子どもたちに
・自分を知り，よりよい自分に挑戦する子どもたちに

①　主体的に活動しようとする姿勢づくり

・各教科や特別活動，その他日常生活を通し，基本的な生活習慣の確立と良好な人間関係づくりをすすめる。
・活動の成果を「見える化」することで，児童の自己肯定感の高揚を図る。
・生徒指導の３機能を生かした「プラスの指導」で自信をつけさせ，次への意欲につなげる。

②　学力の向上

・「主体的，対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組み，教師の授業力向上を図る。
・キャリア教育の充実を図り，将来への目標をもって学習に向かう子どもを増やす。
・短いサイクルで理解度や定着度，家庭での学習の様子を検証し，弱点の克服に努める。
・「予習レシピ」を活用し，授業準備につながる予習に重点的に取り組むことで学びを深める。
・特別支援コーディネーターを中心に，全職員で支援を要する児童自身ができることを増やす。

③　職員の協働体制の確立

・学校教育ビジョンを通して，教育公務員としての使命感の高揚と組織としての結束を図る。
・全職員でカリキュラムマネジメントを行い，問題点の解決に向け組織として全力で取り組む。
・校内研修に全職員が主体的にかかわることから，職員の能力の開発や人材育成を図る。
・常に子どもに活力を与えることを共通理解し，学校閉庁日，定時退校日の適切な設定，並びに，業務の効率化を共通認識し，心身ともに健康な状態で子どもと接することができる職員組織をつくる。

④　地域連携と貢献

・地域人材を活用した授業実践に取り組む。また，地域の行事や文化を教育課程に生かす。
・活動の様子や成果と課題，改善策をタイムリーに発信することで，学校評価システムの充実を図るとともに，地域の協力を得やすい環境作りを進める。
・中学校との連携を強化するとともに，9 年間の系統的な指導体制を実現させる。

（５）本年度の具体策

(1) 学力向上に向けて

①４年生と５年生，６年生の算数科において，各クラスで習熟度別少人数授業を実施し，個に応じたきめ細かな指導を充実させる。
　・チャレンジコース　…　「教えて考えさせる授業」　＋　課題解決型学習
　・コツコツコース　　…　「教えて考えさせる授業」　＋　教えることのできる児童の育成

②「専科」教員を活用した，より専門的知識や技能に基づく授業を展開する。
　・５年生，６年生　…　理科専科教員による授業

③単元計画に「考えさせる活動」が中心となる時間を明記するとともに，学びの楽しさを実感したり，意欲の向上を図ったりする時間を確保することに組織的に取り組む。

④学年ごとの学習時間（２０・４０・６０運動）を充実させるとともに，年間を見通したメリハリのある家庭学習計画を実施する。

⑤スタディマナー等，学習規律の徹底を図る。

⑥通級指導教室では、４年生と５年生において新たに国語科も開設し，語句の理解をサポートすることで，基礎基本の定着を図る。

⑦リテラシータイムを活用し各教科の定着度を短いサイクルで検証するとともに、補充・発展学習を充実させる。

(2) 心の教育並びに健康や体力の増進

①確かな児童理解を基本とし，積極的な生徒指導の充実を図る。
　・あいさつ，あきらめない，あとかたづけを通した集団づくり（３あ運動）
　・生徒指導の３機能（「自己決定」「自己存在感」「共感的人間関係」）を生かした児童との関わり
　・達成感，満足感が高まる諸活動（自治活動：教師主導から児童の企画運営へ）
　・いじめに関する定期的な調査の実施と迅速な組織対応
　・Ｑ－Ｕテストの実施と結果を生かした学級経営（いじめアンケートと連動）
　・発達支援室，スクールカウンセラー，支援員等との確かな連携

②道徳教育と心の教育の充実を図る。
　・時期とねらいを明確にした計画的な道徳及び学級活動の実践
　・保護者，地域と連携した道徳の授業（ゲストティーチャー年一回以上の活用）

③体力向上・健康の増進を図る。
　・年間を通して「持久力」と「柔軟性」の向上を目指す
　・基本的な生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯，ＳＮＳ機器等の利用時間とマナー）

④読書活動の推進により，言語能力の向上と心の教育の充実を図る。
　・朝読書の充実と家庭での読書習慣の推進
　・並行読書の充実（国語科）

⑤特別支援教育に対する理解と認識を深め，指導体制の充実を図る。
・個に応じた支援計画の作成と支援内容の共通理解
・発達支援室等，関係諸機関との連携（専門相談員との連携）

(3)地域に根ざした「開かれた学校づくり」
①様々な情報手段を使って，情報の発信を図る。
・学級便りで子どものいきいきとした姿を発信（児童の活動の様子をタイムリーに伝える）
・学校だよりの発行とＨＰの更新（活動の意義・目的と児童の変容を知らせる）
②地域行事やＰＴＡ行事へ積極的に参加し，家庭や地域との連携に努める。
・参観から参画へのＰＴＡ活動
・保護者，地域と連携した各種行事の企画及び運営（各教科，道徳，総合等）
③厳しい社会を生き抜く児童の育成に向けた保護者への協力依頼
・基本的生活習慣作りへの支援
・あいさつ，家の手伝い，生活のリズムの見守り，家庭学習の充実に向けた支援

(4)教職員の専門的な資質・能力の向上と，組織的な学校運営
①0JT を基盤としつつ，各種ステージを見据えた各種研修会等への積極的参加と還元により教員としての専門性を高める。
・人事評価制度を活用した目標達成に向けた教師力及び組織力の向上
・日常的な校内研究等の充実
・校内研修や校内研修サポート事業、要請訪問を通した授業力向上
・初任者研修制度や若手教育早期育成プログラム，中堅教諭等資質向上研修の活用
・主任会議を組織的学校運営の基本に据え，職員会議との連動で提案力，協議力を育成
・ベテラン教員と中堅若手教員との協働体制を活かした学校力の向上
②時間外勤務削減に向けた校内体制の見直し（定時退庁日設定等）、 働き方改革を推進する。
・各種会議等の効率化（資料等の事前配布，報告と協議事項の明確化）
・校務の効率化と，子どもと向き合う時間の確保
③「報・連・相」を基本とした危機管理意識の醸成を図る。
④保・小・中・高や研究推進校との連携を強化する。